

会員の皆さま

### 令和3年度ベースアップ研修

## \* 時代を読み、精神保健福祉士の実践を考える \*

- ① 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム
- ② 地方公共団体による精神障害者の退院後支援ガイドライン

会員の皆さまにおかれましては、今もなお新型コロナウイルス感染症の動向を注視しながら日々の実践を行っていることと思います。公私ともに一日でも早く肩の力を抜いて過ごせることを祈るばかりです。

さて、今年度のベースアップ研修は、「時代を読む」をテーマとしました。近年、精神保健医療福祉においてさまざまなキーワードが飛び交う状況にあります。そこで、これらの用語に振り回されず、現状を整理し理解を深めるとともに、私たち精神保健福祉士が何にどう取り組むことが必要なのかについて考える機会としたいと思います。特に、平成30年に各自治体に通知された「地方公共団体による精神障害者の退院後支援ガイドライン」については、実践に携わっている方をお招きし、その取り組み状況や課題、所感等について話題提供いただき、岩手県における運用について思慮を深めたいと思います。

今回も会場とオンラインのいずれかの受講形式を選択いただける研修となっております。多くの方々のご参加をお待ちしております。

(日 時) 令和3年11月13日(土) 9:30~12:00

(場 所) 会場受講: アイーナキャンパス学習室2 (盛岡市盛岡駅西通1丁目7-1 アイーナ7F)  
オンライン受講: Zoom ミーティング

(内 容) 時代を読み、精神保健福祉士の実践を考える

第1部 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムについて

~ 重層的相談支援体制整備事業、地域拠点等整備事業の位置づけを踏まえて ~  
概要説明: 岩手県精神保健福祉士会

第2部 地方公共団体による精神障害者の退院後支援ガイドラインについて

① 概要説明: 岩手県精神保健福祉士会

② 話題提供: (仮) 退院後支援ガイドラインの実践を通して

話題提供者: 岩手県県央保健所 保健課 精神保健福祉対策 特命課長 中野 真美子 氏

第3部 意見交換

(対象者)

岩手県精神保健福祉士会の会員、または(公社)日本精神保健福祉士協会岩手県支部の支部会員

・会場受講定員15名(先着順) ※定員超過の場合、オンラインでの受講をお勧めする場合があります。

(申込方法)

申込書に必要事項を記載の上、令和3年11月8日(月)までにFAX又はメールにて申込み願います。

(申込先)

岩手県精神保健福祉士会事務局【FAX】0198-24-1721 【E-mail】iwatepswjimukyoku@yahoo.co.jp

(オンラインでの受講の方へ)

- ① 「オンラインでの受講」をお申込みいただいた方には、研修申込締切後にZoomの「ログインID」と「パスコード」を記載した招待メールをお送りいたします。
- ② WiFiの使用可能な環境での受講をお勧めいたします。